

2026年9月29日

17時00分現在

丸善製薬株式会社
対策本部 広報対応責任者

事業継続計画(BCP)発動に伴う事業継続活動について（第6報・最終報）

2026年4月28日に当社三次工場において発生した工場内タンク爆発・火災事故につきまして、関係者の皆様および地域の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

また、本事故により負傷された皆様ならびにご家族の皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げます。

当社は、負傷された皆様に心を寄せるとともに、本事故を真摯に受け止め、安全確保および再発防止に向けた取り組みを継続してまいります。

現時点での状況につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

1. 事故の概要

2026年4月28日、三次工場において、製造棟新設工事に関連する作業中に爆発事故が発生しました。

現在も警察・消防等の関係機関による調査が継続しておりますが、当社は引き続き当該調査に全面的に協力しております。

2. 設備復旧および生産体制の状況

事故により損壊したエタノール貯蔵タンク設備につきましては、復旧工事、安全確認および試運転を実施し、復旧作業を完了いたしました。

これにより生産設備は事故前と同等の状態まで回復し、生産体制につきましても通常操業体制へ移行しております。

3. 供給への対応

事故発生以降、お客様への影響を最小限に抑えるため、在庫活用、他拠点での対応、生産計画の見直し等を進めてまいりました。関係者の皆様には、多大なるご理解とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

現在は生産・供給体制共に正常化しており、事故発生以来継続してまいりました代替対応、在庫活用等による供給維持施策につきましても現在は通常の供給体制へ移行し、安定供給を継続しております。

4. 原因調査の状況

本事故につきましては、現在も警察・消防等の関係機関による調査が継続しており、当社といたしましては、当該調査に全面的に協力しております。

現時点において事故原因は最終的に確定しておらず、調査結果等につきましては、内容が明らかになり次第、適切にお知らせしてまいります。

5. 再発防止に向けた取り組み

当社といたしましては、事故原因の最終的な確定を待つことなく、現時点で把握している課題を踏まえ、更なる安全水準の向上に向けて安全管理体制の見直しに着手しております。

今回の事故を踏まえ、特に危険物設備に関わる工事については、専門事業者による安全管理体制のもと実施される事を前提としつつ、当社としても設備所有者および発注者の立場から、安全管理内容の確認を強化してまいります。

主な取り組みは以下の通りです。

- ・工事に関わる事業者の安全管理体制および実施状況に対する確認体制の強化
- ・事業者が実施するリスクアセスメント内容の確認および評価体制の強化
- ・事業者が実施する安全管理内容に対する当社の確認体制を強化するとともに、その管理基準の見直し
- ・緊急時対応体制および報告体制の強化

尚、今後判明する調査結果についても十分に検証し、必要な追加対策を講じてまいります。

6. BCP 対応の終結について

当社は、本事故に伴い事業継続計画（BCP）を発動し、生産・供給体制の維持および早期復旧に向けた対応を進めてまいりました。このたび設備復旧および供給体制の正常化が完了したことから、本報を持ちまして本事故に伴う BCP 対応を終結し、通常の事業運営体制へ移行いたします。

尚、原因調査への対応および再発防止に向けた取り組みにつきましては、引き続き継続してまいります。

7. 今後の対応

当社といたしましては、本事故を重く受け止め、今後も安全を最優先とした事業運営を徹底し、安全管理体制の継続的な向上および再発防止に取り組んでまいります。このたびは、関係者の皆様および地域の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

また、本報をもって本事故発生に伴う BCP 対応は終結いたしますが、事故原因に関する関係機関の調査は継続しております。当社は引き続き調査に全面的に協力するとともに、調査結果その他新たにお知らせすべき事実が判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上